

ロシア軍のウクライナ侵略に強く抗議し、恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウィルス感染症への対応に追われている中、ロシア軍は2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

よって、本市議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちにすべての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、世界の恒久平和の実現に向け対応することを強く求めるものである。

また、政府においては、国際社会と連携し、あらゆる外交手段を駆使しながら、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について万全を尽くされるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月14日

宮崎県えびの市議会